

**\* 堂平観測所の天体写真原簿発見 (第1冊: 1962年~1969年分)**

アーカイブ室新聞454号、455号、457号、458号、459号、460号、461号、462号、463号に堂平観測所の乾板整理の記事を書いた。国立天文台の三鷹に所蔵している写真乾板の整理は他の人の担当であるが、図書室に所蔵された図書以外のものの箱がアーカイブ室の筆者の元に持ち込まれることがある。その中に写真乾板があれば、たらい回しにせず筆者がデジタルデータとして読み込むことを進めていたが、その途に堂平観測所の天体写真原簿なるものが存在することを知った。この原簿の発見者は大島紀夫氏である。この原簿の存在を当初から知っていれば、これ等の記事も変わったものになった。堂平観測所の天体写真原簿は4冊存在している。写真1がその第1巻である。写真2がその背表紙である。



写真1 堂平観測所の天体写真原簿第1巻



写真2 堂平観測所の天体写真原簿 第1巻の背表紙

この第1巻には1962年から1969年までの天体写真乾板が掲載されていて、それらにはNo. (乾板番号)、Date (撮影年月日)、B-Time (露出開始時刻)、E-Time (露出終了時刻)、

Exposure (露出時間)、Emulsion (乾板種別)、Focus (焦点値)、Object (天体名)、Filter (フィルター)、Observer (観測者) のデータが記入されている。そして1963年～1967年の末尾には年間の観測日数、取得乾板の一覧表が記入されていた。写真2は1964年の最後のページである。1月から12月までの各月の観測夜数、主焦点で得た乾板の枚数、カセグレン焦点で得た乾板の枚数、分光器で得た乾板の枚数、チューブセンシトメーターで得た乾板の枚数の表になっている。写真2のページは見開きでA3の大きさをこの大きさに載せてあるので読めないと思うが、これがweb上に乗せられればそのページを拡大して見ることが出来るので、どのようなことが書かれているかおわかりいただけたらと思う。それらを各年別に整理すると、表1のようになる。

55

1964

Nr.	Datum (1964)	Belichtung	Δ T	F	Temp.	Bedingung	Platte	f	Objekt	Mitte	R. A. 1855.0 Dekl.		Bemerkung	
765P	XII-13	28 9 30 - 29 17 30		w	5.0°C		IN*	22.6	NGC 3628				R 91 富田	
L 766P	XII-30	20 53 00 - 20 59 00	20	w	8.0	7 Good	FLoE	42.4					富田	
767		20 59 00 - 21 09 00		w	8.5	" "	"	"					"	
768		26 12 00 - 26 36 00		w	2.8	2 Bad	"	"					"	
769		26 44 00 - 27 04 00		w	3.0	" "	"	"	ET-9-H				"	
770		27 16 00 - 27 27 00 27 28 00 - 27 38 00		w	3.0	" "	"	"	Hama-san				"	
771		27 58 00 - 28 12 00		w	"	" "	"	"	Sch-wach				"	
772		28 28 00 - 29 00 00		w	"	" "	"	"	"				"	
		Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	July	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Total
Obs. Night		4	7	6	1	10	2	3	2	0	0	4	8	47
Prima		41	56	74	6	61	19	0	0	0	0	24	64	345
Cass		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Spec		0	0	0	0	10	0	7	2	0	0	3	0	22
J.S.		0	0	4										4
		772 40 36		78			67					207	41	319 + 345 664

写真2 堂平観測所の天体写真原簿の1963年最終頁

表1を見ると、観測夜数、主焦点での取得乾板は、1963年は52夜、362枚、1964年は47夜、345枚、1965年は80夜、402枚、1966年は72夜、396枚、1967年は89夜であるが、取得乾板の整理はされていない。

この天体写真原簿に登場する観測者は、富田弘一郎、下保茂、宮本昌典、大沢清輝、成相恭二、下田真弘、西村史朗、石田恵一、大橋 満、松波直幸、林(清川)正男、関口直甫、柴崎 肇、吉野(?)、高瀬文志郎、菊地 仙、赤羽賢司、佐藤弘一、香西洋樹、前原英夫、忽滑谷 基、日江井栄二郎、米山、笹尾哲夫、横尾広光(?)、谷川清隆、高柳雄一、斎藤馨児、小平桂一の諸氏であるが、ほとんどは富田弘一郎、下保茂のお二人である。

この原簿の各年の最初のページに書かれた年号にそれぞれの年で特徴があつて面白いので紹介しておく（写真3）。

1963	Jan-63	Feb-63	Mar-63	Apr-63	May-63	Jun-63	Jul-63	Aug-63	Sep-63	Oct-63	Nov-63	Dec-63	Total
Obs.Night	12	1	5	2	2	1	1	0	4	5	10	9	52
主焦点	87	7	43	7	5	1	4	0	29	14	94	91	382
カセグレン	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
分光器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
チューブセンシトメータ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16
													409
1964	Jan-64	Feb-64	Mar-64	Apr-64	May-64	Jun-64	Jul-64	Aug-64	Sep-64	Oct-64	Nov-64	Dec-64	Total
Obs.Night	4	7	6	1	10	2	3	2	0	0	4	8	47
主焦点	41	56	74	6	61	19	0	0	0	0	24	64	345
カセグレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分光器	0	0	0	0	10	0	7	2	0	0	3	5	22
チューブセンシトメータ	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
													371
1965	Jan-65	Feb-65	Mar-65	Apr-65	May-65	Jun-65	Jul-65	Aug-65	Sep-65	Oct-65	Nov-65	Dec-65	Total
Obs.Night	8	14	13	11	6	0	3	1	4	5	8	7	80
主焦点	51	62	114	77	20	0	8	1	36	23	58	52	402
カセグレン	0	35	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	41
分光器	0	0	0	1	10	0	7	2	0	0	1	0	2
チューブセンシトメータ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													445
1966	Jan-66	Feb-66	Mar-66	Apr-66	May-66	Jun-66	Jul-66	Aug-66	Sep-66	Oct-66	Nov-66	Dec-66	Total
Obs.Night	9	8	8	4	4	3	4	4	1	6	3	18	72
主焦点	80	70	44	47	33	12	9	19	6	7	0	69	396
カセグレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分光器	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	4	17	28
チューブセンシトメータ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													424
1967	Jan-67	Feb-67	Mar-67	Apr-67	May-67	Jun-67	Jul-67	Aug-67	Sep-67	Oct-67	Nov-67	Dec-67	Total
Obs.Night	11	8	14	7	4	8	2	6	4	6	7	12	89
主焦点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カセグレン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分光器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チューブセンシトメータ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													0

表1 1963年～1967年分のまとめを整理したもの

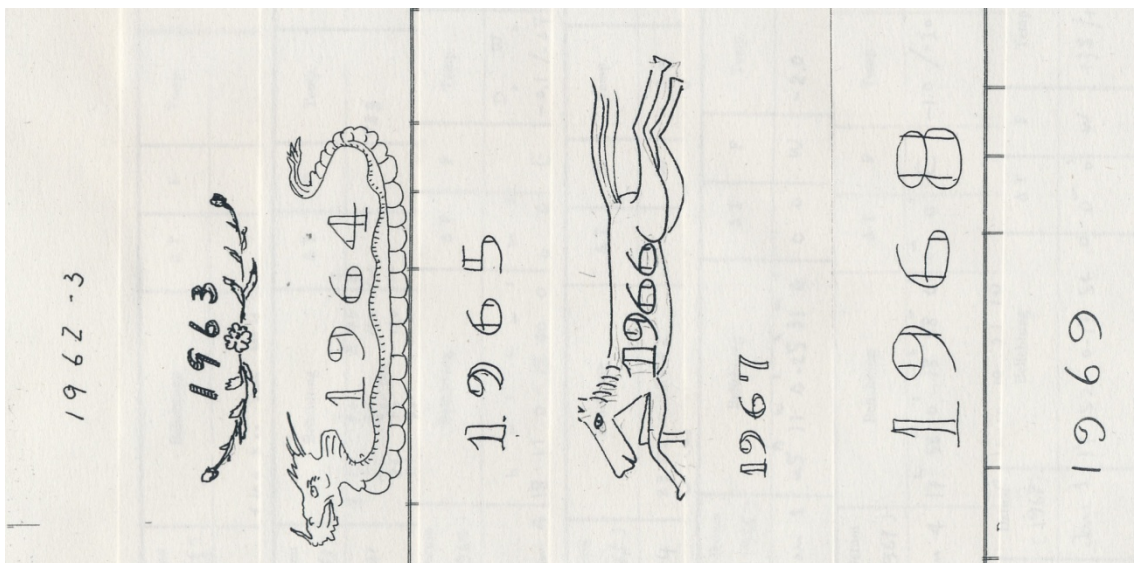


写真3 各年の最初のページの上の年号

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)